

【オリコンサルら エッジAIカメラで にぎわいを自動計測 道路空間で実証実験】

## オリコンサルら エッジAIカメラで にぎわいを自動計測 道路空間で実証実験

オリエンタルコンサルタンツは、AI（人工知能）スタートアップの Intelligence Design（東京都渋谷区、中澤拓二社長）と

の頻度を約5割も削減）できるメリットがある。

国土交通省の「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」として、2020年11月から「玉島笠岡道路六条院トンネル工事」（発注者＝中国地方整備局）で試行。施工管理の効率化など現場の生産性アップに対する効果を確認した。

今後も継続して計測できる項目の追加や取得する画像の高精細化といったシステムの改良を進める。安藤ハザマが手掛ける山岳トンネルの現場に積極的に適用して施工管理の一層の効率化に取り組む。既設トンネルや導水路の維持管理（点検・調査）、災害時の状況確認への活用も検討していく方針を示す。

エッジAIカメラ「IDEA counter」を活用し、道路空間でのにぎわいや荷さばきなどの状況をモニタリングする実証実験を神戸市三宮で開始した。路上での人や車のさまざまな活動を自動計測し、道路空間を客観的・定量的な指標に基づいて評価していく試みで、ウォーカブルなまちづくりの評価や道路空間の柔軟な使い方の検討に反映し、スマートシティの実現にも寄与するとしている。

IDEA counter は、AI画像認識・IoT（モノのインターネット）端末を利用し、カメラ画像から人や車両などを計測するカメラソリューション。Intelligence Designが開発した。

実証実験では、ウォーカブルなまちづくりの推進を目指して、道路空間での歩行者の属性別通行量、滞留・滞在時間と密度、沿道施設へのアクセス状況、路上駐停車の場所や時間、台数、歩行者と自転車、自動車の通行数などを自

動計測し、にぎわいの状況や荷さばきなどの駐停車需要を、エッジAIカメラを使ってオンライン上でリアルタイムに把握・評価する。

25日から同市三宮の資合南54号線で実験を開始。今後、両社はその結果を踏まえつつ、にぎわいなどの評価指標の自動計測を開発・高度化し、まちづくりにおけるDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進することで、多様なニーズに応える道路空間や人中心のにぎわい空間の実現を支援していく。